

決裁区分	部長	課長	課長補佐	担当	起案	分類	0・2・4
丙	谷屋	諸星	志村		石原	起案	25・4・10
						決裁	25・4・11
						施行	・

秦野市公共施設再配置計画推進会議開催結果

会議名	<input type="checkbox"/> 平成 年度 第 回 本部会	
	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 25 年度 第 1 回 シンボル事業③推進 プロジェクトチーム	
	<input type="checkbox"/> 平成 年度 第 回 ワーキンググループ	
開催日時	平成 25 年 4 月 10 日 (水) 午後 1 時 30 分 ~ 午後 2 時 30 分	
開催場所	3 A 会議室	
出席者	政策部長 (チームリーダー)	財務部長
	くらし安心部長	福祉部長
	こども健康部長	教育部長
	事務局	公共施設再配置推進課長
議 題	1 平成 25 年度における公共施設の機能充実及び機能補完について	
	2 今後のスケジュールについて	
配付資料	資料 1 秦野市公共施設再配置計画推進体制体系図	
	資料 2 平成 25 年度における公共施設の機能充実及び機能補完について	
	資料 3 機能充実及び機能補完に関するフロー (案)	
会 議 結 果		
<p>① 本年度に予定する公共施設の機能補完及び機能充実について、昨年 10 月にワーキンググループ会議で再配置計画の方向性を確認し、本年 2 月に再度会議において予算案と事業スケジュールを調整した。予算は 3 月議会で議決いただいた。推進体制体系図に示す上位会議として、これらの計画方向性を公認することが本日の会議の目的である。</p> <p>② こども館は、曾屋ふれあい会館の機能補完先となるのか。 ⇒ こども館の利用対象となるこどもとこども関係団体について、機能補完は可能であるが、現状では、曾屋ふれあい会館の全ての利用者の機能補完先となるわけではない。曾屋ふれあい会館は、自治会・老人会・婦人会等の利用が多いことが特徴で、遠方から車で来る利用者は、補完先として末広ふれあいセンターなども案内できるが、自治会館のような形での利用もされていることから、地元自治会への丁寧な説明と自治会館機能をどうするかが最も重要となる。</p> <p>③ 曾屋ふれあい会館の廃館予定はどのようなか。 ⇒ 廃館は本年度中に行い、平成 26 年度予算で解体費用を計上する予定である。</p> <p>④ 曾屋ふれあい会館廃館後の跡地へ開放型自治会館を建設することについて ⇒ 現段階では、土地所有者である地元自治会の意向を確認していない。そのため、跡地利用については未定である。また、市としても開放型自治会館を建設してもらうための支援策を検討していないので、計画の全体を詳細に提示できないのが現状である。</p> <p>⑤ 市民や議会への周知のタイミングについて ⇒ 各施設が独自に進めずに、全体でスケジュールを調整したい。</p> <p>⑥ 曾屋ふれあい会館に係る部分とそれ以外の部分へのフローの切り分け ⇒ 各施設にとっては、本年度に予定する移転等の一連の事業は、「機能の充実」であることから、地元調整等が必要な曾屋ふれあい会館の廃館とは分けて考えることが適切である。曾屋ふれあい会館の廃館については、地元自治会との調整や、開放型自治会館への建設誘導のための支援策を検討したうえで、別途ワーキンググループで調整していく。そのため、フロー図を曾屋ふれあい会館と、それ以外の各施設の機能充実の切り分け、まずは各施設の機能充実について、本部会に諮るための準備を進めていくこととする。</p>		
備考		